

# 平成29年度事業報告

一般財団法人 曾田豊二記念財団

曾田豊二先生は、九州大学医学部を昭和 29 年に卒業した後、父親の曾田共助先生と同じ耳鼻咽喉科の道を進み、九州大学医学部助教授から昭和 47 年に福岡大学医学部耳鼻咽喉科の初代教授として赴任した。在職中に、耳鼻咽喉科専門医の育成と学問・研究の推進をおこなう日本耳鼻咽喉科学会の理事長や、耳鼻咽喉科学及び関連分野に関する研究の国際的推進を図る公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会（SPIO）の理事長などを歴任し、耳鼻咽喉科領域の学界において多大な貢献をして、平成 29 年 1 月に満 92 歳で生涯の幕を閉じた。

没後、多くの遺産と約 4 万点にもおよぶ膨大な蔵書と資料の整理には、弟子などの医療関係者が曾田豊二懇話会を設立して当たってきた。資料の中には、父親の曾田共助先生が師事した九州大学医学部耳鼻咽喉科初代教授で日本耳鼻咽喉科学の先駆者として知られる久保猪之吉先生のものや、柳田国男、柳原白蓮、松本清張などの文化的交流を示す貴重なものが残されていた。懇話会では、曾田豊二先生の意志を引き継ぎ、遺産の一部を耳鼻咽喉科とその関連分野における研究者の育成と研究の助成や、これらの貴重な資料の保存と分析および展示をおこなうために、財団活動をおこなうことに決定した。

平成 29 年 5 月 9 日に財団の設立準備委員会を立ち上げ、設立時評議員 4 名、設立時理事 3 名、設立時監事 2 名を取り決めて、法人の名称と事業内容等について審議した。財団の評議員 4 名、理事 3 名、監事 2 名を選任し、必要な書類を整えて設立手続きをおこなった。

平成 29 年 6 月 16 日に耳鼻咽喉科および関連分野の医療・学術の発展を目指すことを目的とする一般財団法人曾田豊二記念財団が登記された。当該財団の事業目的は、以下の通りとした。

- (1) 耳鼻咽喉科及び関連分野の研究者に対する奨学金の支給
- (2) 耳鼻咽喉科及び関連分野の研究に対する助成又は顕彰
- (3) 耳鼻咽喉科及び関連分野の学会や大学に対する助成又は寄付
- (4) 九州大学及び医学部同窓会の事業に関する事
- (5) その他前各号に関連する事業

平成 29 年 10 月 25 日開催の評議員会で定款変更を決議し、評議員 2 名、理事 3 名を選任して事業を遂行することとした。

平成 30 年 3 月 12 日開催の評議員会で定款変更を決議し、評議員 1 名と監事 1 名の辞任、理事 1 名と評議員 1 名、監事 1 名を選任して事業を遂行することとした。

当該財団の平成 29 年度の事業を、以下の通り報告する。

事業期間：平成29年6月16日～平成30年3月31日

1. 事業内容を検討する組織の整備

平成29年10月25日開催の理事会において、財団の目的に照らし合わせ、奨学金や論文顕彰、研究助成などの募集内容やその金額等を検討するために運営委員会の設立を決議した。

平成30年1月31日開催の理事会において、運営委員会の委員を選任して財団の事業内容を検討する組織を整備した。

2. 平成30年度事業計画と予算書の作成

平成30年2月14日より運営委員会を3回開催し、平成30年度の事業計画と予算を審議した。

平成30年3月12日開催の理事会と評議員会において、平成30年度事業計画と予算を可決確定した。